

インターネット系企業の経営者や投資家らが集まる「インフィニティ・ベンチャー・サミット（IVS）」が22、23日に札幌市内で開催された。目玉は新サービスの登竜門として知られる

## サイチライト

「ローンチパッド」。ベンチャー企業など14社が新しい事業モデルやサービス・商品を競った。

IVSのローンチパッドは今回で16回目。事前の書類選考や面談を経て、本戦

## VB、札幌で新事業競う

に残れるのは、毎年わずか10社程度。各社に与えられるわずか6分間のプレゼン対決で最優秀賞を決める。過去の優勝者は資金調達なども順調に進み、ビジネスを拡大している。

今回の優勝者は、次世代車いすの「WHILL」（東京都町田市）。洗練されたデザインと高い操作性の車いすは、四輪駆動で雪道や砂利道も問題なく走行できる。全地球測位システム（GPS）を搭載し、どこを走っているかもわかる。米国で先行発売され、今夏にも日本市場に投入する。

## 「グーグル超え」活躍期待

ユニークなサービスが目白押しだった。映画館や古民家など100カ所以上を予約できるサービス「स्पイスマーケット」。空いたスペースに着目したビジネスだ。オンラインでダイエツトを支援するサービス「REPU」（リプル）。「REPU」（リプル）は、個人に「家庭教師」が付いてアドバイスをしてくれる。

審査員を務めたヤフーの小沢隆生執行役員も「プレゼンした企業すべてレベルが高かった」と講評。ネットサービスだけでなくWHILLのようなハードウェアも目立った。ハードウェアのベンチャーが増えつつあることも背景にあるようだ。

「グーグルやフェイスブックを超える企業が登場してほしい」。IVSを主催するベンチャーキャピタル、インフィニティ・ベンチャーズLLP（東京・世田谷）の小林雅・共同代表パートナーは冒頭のあいさつでそう述べた。熱気に包まれる「ピッチ」を目の当たりにし、日本のスタートアップ企業の活躍への期待が大いに高まった。

（名古屋和希）